

当大学において解剖を受けられた方のご遺族の方へ

— 「小児虐待の客観的証拠になりうる胸腺超音波検査方法の検討」 へご協力をお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 成瀬恵治

研究責任者：岡山大学学術研究院医歯薬学域 法医学 宮石 智

1) 研究の背景および目的

昨今、虐待児童の保護をめぐって「適切な対処」を求められる傾向が強くなってきております。しかし、虐待の存否の判断については、困難なケースが多いのが現状です。

一方で、子どもに特徴的に存在する胸腺という組織は様々なストレスで萎縮することが知られております。この胸腺の萎縮を検知することが、子どもにかかるストレスの指標となり、適切な児童の保護や救済につなげられないかと思ひ、この研究を行っております。

なお、この研究に参加されなくても不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。

もし、おわかりになりにくいことがありましたら、どうぞ遠慮なく担当者にお尋ねください。臨床研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について以下に示す倫理審査委員会にて審査され、承認された後に研究を開始することになっています。今回の臨床研究につきましても、既にその審議を受け、承認を得ております。

2) 研究対象者

岡山大学法医学分野にて法医解剖となった腐敗が軽度以下で 30 歳未満の方 30 名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2030 年 3 月 31 日

情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可日から 1 週間後

4) 研究方法

当大学において法医解剖を受けられた方について、法医解剖にて得られた、体外からの超音波検査法による測定値と、開胸後に摘出された胸腺の測定値を比較します。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、解剖記録から以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などの故人を直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、故人の情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・開胸前超音波検査による胸腺の厚みの計測値
- ・開胸により摘出された胸腺の大きさ、重量などの計測値

6) 試料・情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後も岡山大学学術研究院医歯薬学域法医学分野で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 二次利用

将来、新たな研究が計画され、今回の研究で得られた情報を、超音波診断装置による胸腺検査方法の実施・実用化を目的とする研究に用いる場合には、改めて研究計画書を倫理審査委員会に提出し、承認を受けます。承認された場合、ホームページでの研究の公開 (<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/ethics/koukai/>) がされます。もし、あなたの意思が変わった場合には、いつでも下記の連絡先までお申し出ください。

8) 研究資金と利益相反

この研究は特段の費用を要しないため特定の研究資金は用いません。

この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

9) 研究計画書および個人情報の開示

ご遺族様のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、ご遺族様が希望される場合にのみ行います。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などの故人を直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、故人の情報が研究に使用されることについて、ご遺族様にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合もご遺族様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学大学院医歯薬総合研究科法医学分野

氏名：井濶美希

電話：086-235-7201（平日：10時00分～17時00分）